

特殊詐欺未然に防ぐ

岐阜信金東関支店に感謝状

関署

特殊詐欺被害を防いだとして、関署は、関市市平賀の岐阜信金東関支店の大西祥子次長と川尻博之さんに署長感謝状を贈った。

署によると、2月16日夕方、関市の70代女性が「ATMでお金を下ろせない」と慌てた様子で来店した。川尻さんと大西さんが別室で事情を聞くと「孫からお金がほしい」と電話があっ

た」と打ち明けたため、2人は「詐欺の手口に似ている」と直感。関署に通報し、引き出しを要求する女性の説得に当たった。女性は孫をかたる男から金品を要求されていた。

署で贈呈式があり、大西さんと、川尻さんの代理の兼塚豊享支店長が出席。大西さんは「女性と顔見知りだったからこそ、詳しい話を聞き出して防ぐことができた」と振り返り、兼塚支店長は「卑劣な犯罪を根絶させられるよう、支店を挙げて詐欺被害防止に取り組みたい」と語った。中井敏克署長は署長感謝状を手渡し「今後も抑止と検挙を強力に進めていく」と話した。

(桂川景)



署長感謝状を受け取った大西祥子さん(中央)と兼塚豊享支店長(左) 関署